

■主な仕様

	XA804	XA802
入力コネクター	RCA ピンジャック	←
出力コネクター	スピーカー端子	←
適合インピーダンス	2～8Ω (ステレオ) 4～8Ω (ブリッジ接続)	2～8Ω (ステレオ) 4～8Ω (ブリッジ接続)
定格出力 (14.4V)	70Wx4 (4Ω) 210Wx2 (4Ωブリッジ接続)	80Wx2 (4Ω) 225Wx1 (4Ωブリッジ接続)
周波数特性	5Hz～100KHz(+0,-2dB)	←
高調波歪率	0.01%以下 (1KHz/4Ω)	←
入力感度	0.2V～5.0V	←
入力インピーダンス	22KΩ	←
S/N比	100dB以上 (1KHz/IHF-A)	←
電源	DC12V (マイナスアース)	←
電源電圧	DC12～16V	←
消費電流	1.2A (無信号時) 40A (定格出力時)	0.8A (無信号時) 20A (定格出力時)
リモート消費電流	10mA	←
外形寸法	240(W)x56(H)x432(D)mm	240(W)x56(H)x412(D)mm
重量	5.0Kg (付属品含まず)	4.7Kg (付属品含まず)
付属品	保証書 取扱説明書	← ←

musee

acoustic

ピュアストレート・パワーアンプ

XA804**XA802**

取扱説明書

この度は、**musee**パワーアンプ XA804/XA802 をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

安全のため、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい使い方をして下さい。

**警告**

この製品は、大電力を消費する製品です。

取扱説明書に書かれている注意事項を守らないと、火災や人身事故になる恐れがあります。

■本機の取り付けは、お買い上げ店にご依頼下さい。

取付方法は、車種、年式により異なり、専門的な知識が必要です。

もし、ご自分で取り付けられる場合は、この取扱説明書に従い正しく取り付けて下さい。間違って取り付けると、感電、火災あるいは、車両損傷の原因になります。

■主な特長

- ★ ハイエンド・オーディオブランド **musee** より発売された本機は、シンプル&ダイレクト設計思想により広大なダイナミックレンジと周波数レスポンスを実現した、パワーアンプです。
- ★ 定格出力 70W x 4 / 4Ω (MX804) 80W x 2 / 4Ω (XA802) の十分で余裕のあるパワー。
- ★ アンプの温度上昇、スピーカー保護の為にプロテクト回路を内蔵。
- ★ 効率が良く、動作の安定している大容量PWM電源を搭載。
- ★ 電子部品から機構部品まで、全てのパーツを安全性、高音質、高品質の追求のため吟味した品位あるハイグレードアンプです。

■アフターサービスについて

■保証書

- ◆ この製品には、保証書が添付されています。お買い上げの際、所定事項記入の有無、記載事項をご確認の上受け取り、大切に保管して下さい。
- ◆ 保証期間は、お買い上げ日より「1年間」です。
- ◆ 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づき、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- ◆ 保証期間経過後の修理
故障内容を確認、修理によって機能が復帰できる場合は、ご希望により有償で修理させていただきます。
- ◆ 機能保持部品の保有期間は、製品の製造打ち切り後6年間をめぐっています。この間の修理はさせていただきますが、以後も場合によっては修理可能ですので、お買い上げ店か「お客様相談室」にご相談下さい。

■アフターサービス

- ◆ 不具合があると思われる時には、まず取扱説明書をよく読んでお調べ下さい。それでも改善されない場合は、お買い上げ店か、下記「お客様相談室」にご相談下さい。

(株)ビートソニック お客様相談室

月～金（祝祭日を除く）

10:00～12:00 13:00～17:00

TEL:0561-75-1655

FAX:0561-74-5554

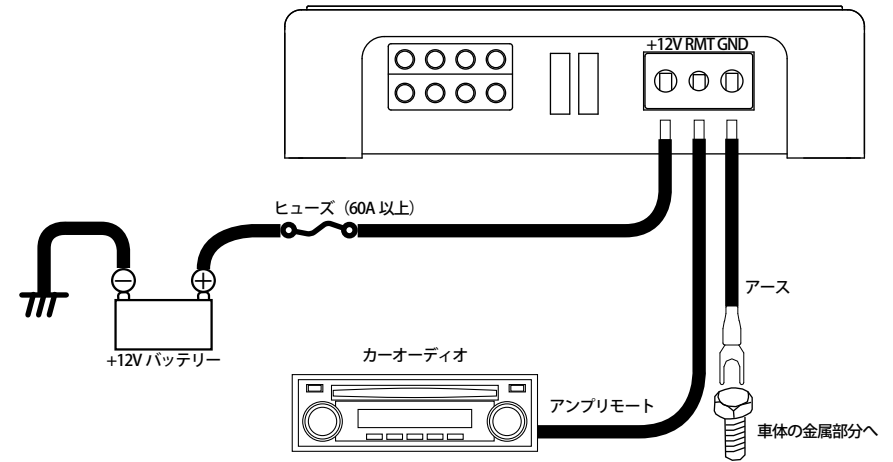
〒470-0112

愛知県日進市藤枝町庚申472-5

<http://www.beatsonic.co.jp/>

hallo@beatsonic.co.jp

■電源の接続について



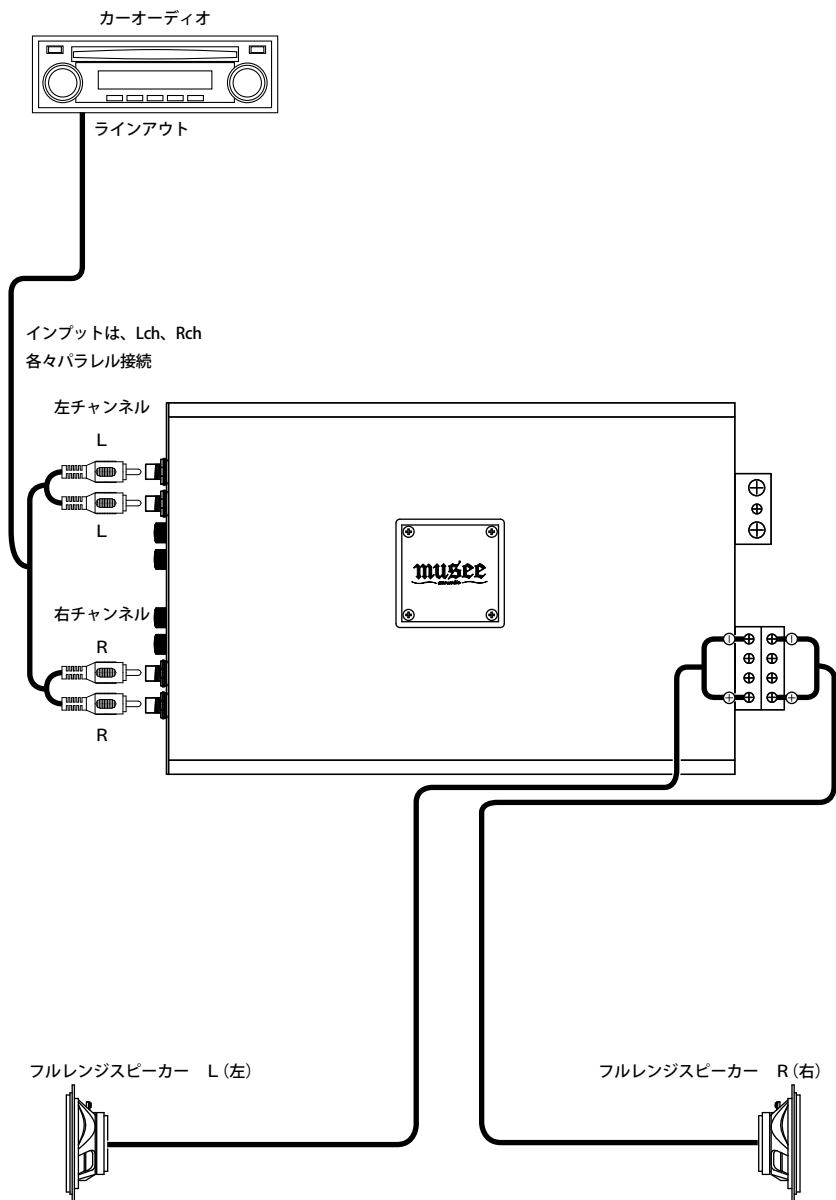
⚠ 注意

電源コードは、全ての作業完了後に接続して下さい。

アースコードは、車体の金属部分に接続して下さい。不完全なアースは、故障の原因になります。

カーオーディオにアンプリモート出力がない場合は、車のアクセサリ電源（ACC）とアンプリモート端子（RMT）を接続して下さい。

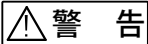
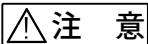
■ 2スピーカーシステムの接続 (ブリッジ接続)



■ 安全のために

警告表示の意味

取扱説明書や製品には、この欄に示すマークが使われています。
これらのマークの内容をよく理解して本文をお読み下さい。

-  **警告** このマークの警告次項を守らないと、火災、感電などにより、死亡、大けがなどの人身事故の原因になります。
-  **注意** このマークの注意事項を守らないと、ケガをしたり、車両損傷や損害を与えたりすることがあります。

 **警告**

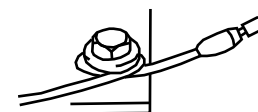
本機は、DC12V マイナスアース車専用です。
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼルなどDC24V
車には、使用しないで下さい。

運転操作や車の可動部に干渉しない様に取り付ける。
ネジやシートレールなどの可動部にコードを挟み込まない。



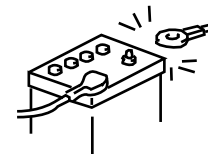
禁止

配線作業中は、バッテリーのマイナスを外す。
ショートにより感電の原因になります。



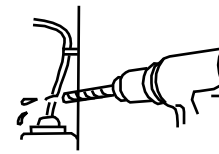
禁止

車体に穴を開ける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけない様に。



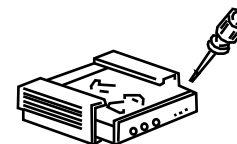
注意

本機を分解、改造しないこと。
故障や火災の原因になることがあります。
保証対象外になります。



禁止

規定容量のヒューズを使うこと。
規定容量以上のヒューズを使うと、火災の原因になります。



分解禁止

アースを取る時、ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどに使用されているボルト、ナットは使わない。
制動不能や火災の原因になります。



注意

雨や水がかかるところ、湿気、ほこりの多いところに取り付けない。
火災や感電、事故の原因になります。



禁止



禁止

注意

安定した場所に取り付けること。
天井や振動の多いところに取り付けると製品が落下したり、身体にぶつかりケガや事故の原因になります。



注意

付属部品で正しく取り付けること。
他の部品を使うと、内部の部品を傷つけたり、しっかり固定されず、事故や故障の原因になります。



禁止

本機に物を乗せたり、かぶせたりしない。
通風口や放熱板の効果がなくなり、内部に熱がこもって火災の原因になることがあります。



禁止



注意

インジケータの名称と働き

PWR

メイン電源が「ON」になると点灯します。
これでアンプは、動作状態になります。

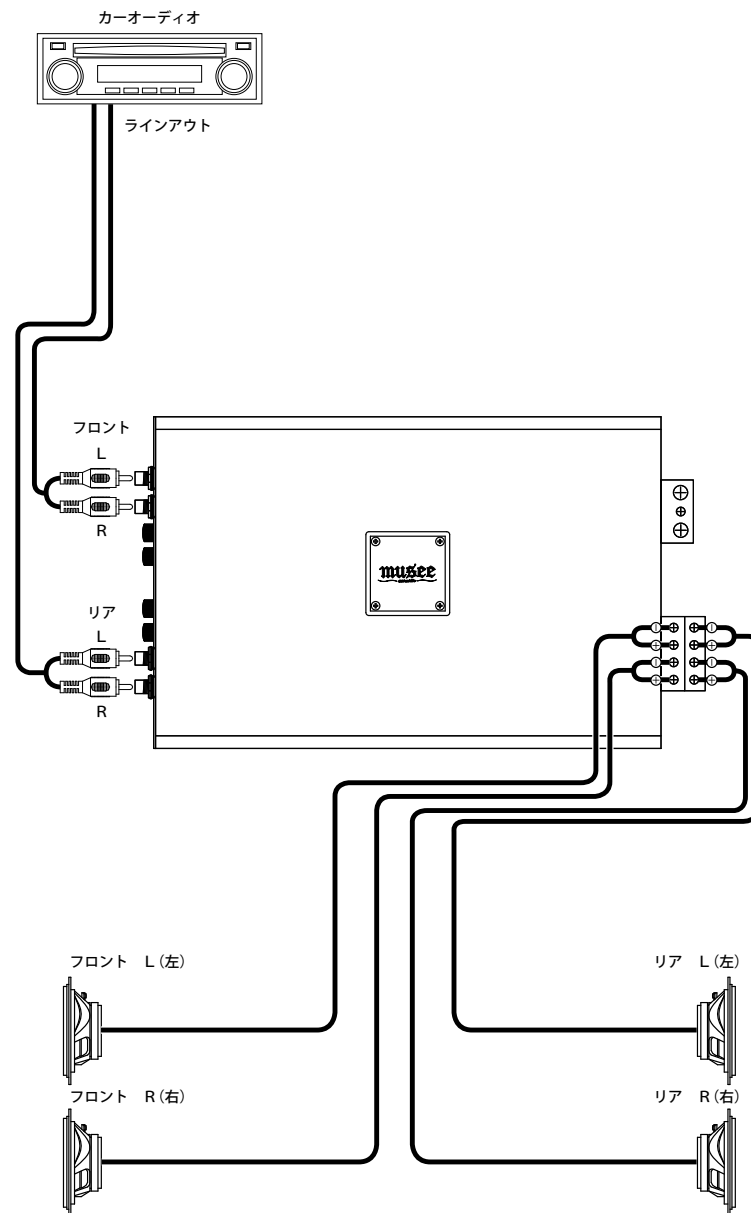
PRT

スピーカー出力がショートしたり、何らかの原因で過電流が流れたり、異常に加熱すると点灯します。直ちに車のキーを「OFF」にし、原因を調べて下さい。

接続

XA804

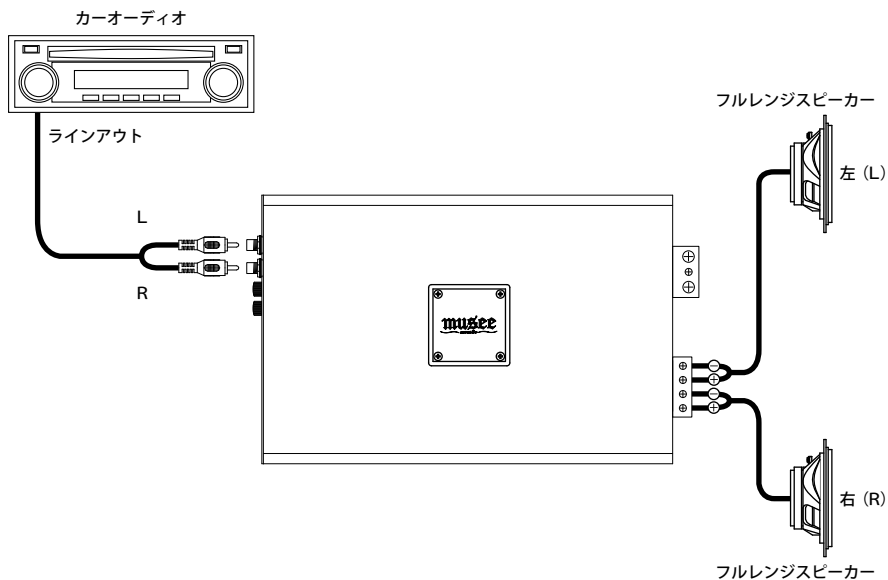
4スピーカーシステムの接続



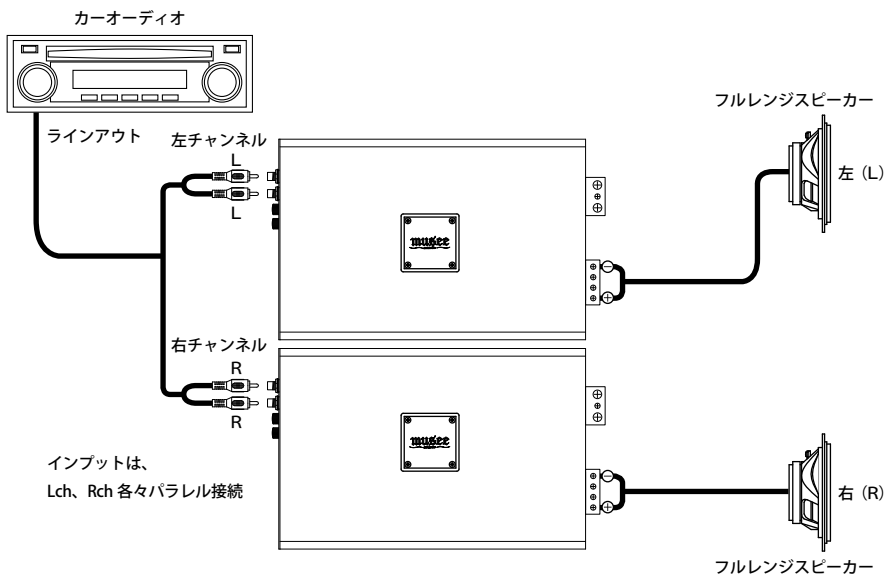
■接続

XA802

■2スピーカーシステムの接続



■モノラルアンプとしての接続 (ブリッジ接続)



■ヒューズの交換

規定容量以外のヒューズは使わないで下さい。

交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、お買い上げ店又は、弊社「お客様相談室」にご相談下さい。

■故障かな？

症状

PWR/PRT インジケーターが点灯しない。

原因

- ・ ヒューズが切れている。
- ・ アースコードが接続されていない。
- ・ リモート端子の入力電源が十分でない。
- ・ バッテリー電圧が低い。

PRT インジケーターが点灯する。
または、点滅する。

- ・ バッテリーの電圧が低い。
- ・ スピーカー出力がショートしている。
- ・ アンプのケース温度が異常に高い。

オルタネーターの雑音が入る。

- ・ 電源コードやピンコードがオルタネーターや車両ハーネスに近すぎる
- ・ アースが不十分である。
- ・ ピンケーブルが車体に接触している。

音が小さい。

- ・ INPUT LEVEL が 5V の方に近い。

原因に対処しても効果がない時は、接続に問題があるか、故障とされます。

お買い上げ店又は、弊社「お客様相談室」にご相談下さい。

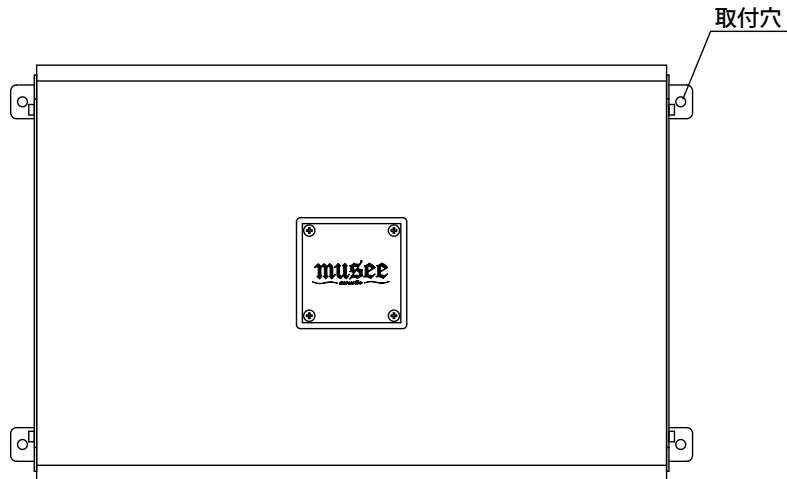
■取り付け

本機取り付け場所は、トランクルーム、ラゲッジスペースまたは、座席下など風通しの良い場所に取り付けて下さい。

ご自分で取り付け、接続が難しい時は、お買い上げ店にご相談下さい。

■取り付け方法

■板厚 15mm 位の丈夫な板を車のカーペットに挟み、木ネジで固定します。



■接続

接続に際して

作業中の事故防止のため、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。

電源コードは、必ず最後に接続する様にして下さい。

入出力コードと電源コードは、ノイズ防止のため、できるだけ離して配線して下さい。

本機は、ハイパワーアンプなので、既存の低容量のスピーカーとコードを使うと性能が十分に発揮できないばかりではなく、スピーカーの破損、コードの発熱を招く場合があります。

スピーカーのマイナス側を車のシャーシーに接続したり、スピーカーのマイナス側同士を接続したりすると、故障の原因になります。

本機のスピーカー端子にアクティブスピーカー（アンプ内蔵）を接続しないで下さい。

■ご注意

本機は、マイナスアース車専用です。

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車の DC24V 車には、使えません。

以下の様な場所には取り付けないで下さい。

温度が極めて高い場所	ヒーターの熱風が直接あたる場所など
水気、湿気の多い場所	水がかかたりする場所など
ラジオ、アンテナに近い場所	ラジオやテレビにノイズが入ることがあります。
運転の妨げになる場所	事故の原因になります。

取付と接続が終了したら

ブレーキランプ、ライト、ホーン、ウinkerなどの全ての電装部品が正しく動作することを確認して下さい。

自動車を屋外に放置する

晴天時には、車内は相当な高温になります。このような時は、車内の温度を下げたからご使用下さい。

PWR インジケーター（青）→ PRT インジケーター（赤）に変わった。

または、交互に点滅を繰り返す。

この場合、以下の原因が考えられます。

- アンプの内部温度が異常に上昇。
- 異常により、高いバッテリー DC 電圧が発生。
- 出力端子がショート。
- バッテリー DC 電圧が低下。

この場合、直ちに接続している機器の電源を切り、異常の原因をお調べ下さい。

また、電源を切り、暫く放置して温度を下げたからご使用下さい。

大きな音量は危険です。

車外の音が聞こえる程度の音量でお聞き下さい。

入力端子（RCA）の接続

RCA 入力コネクタを抜き差しする時は、必ずメイン電源を「OFF」にしてから行って下さい。

大音量ノイズ音が発生し、スピーカーやアンプ本体を破損する恐れがあります。